

## 令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高校生と地元企業とを「つなぐ」事業
事業主体 (連絡先)	飯田市
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,160,000 円

## 事業内容

当地域の高校を卒業する高校生が、地元就職する割合(回帰定着率)は約4割で推移している。そこで、高校生と企業が交流する場を創出し、その関係を長期にわたって継続することで地元への回帰につなげる「つなぐ事業」を実施した。

- ・フリースペースによる受入 利用者総数 274人
- ・受入プログラムによる受入 総参加者数 172人



【旭松カフェinTESSHIN】

## 【目標・ねらい】

- ①高校生が地域の企業や産業を知る機会を創出し、職業観を醸成する。
- ②企業が社会貢献的な受け入れによる高校生との交流を通じて、魅力ある企業へと変化する。
- ③協力企業同士の情報交換等により、企業内に、つなぐ事業に主体的に取り組む企業内メンターが育つ。

## 事業効果

①「高校生は、名前は知っているが何をしている企業か知らない。企業は、自社の認知度を上げたい」といった課題が、つなぐ事業により企業が高校生の居場所になり、プログラムへの参加を通じて地元企業の認知度の向上につながった。

②つなぐ事業は、企業の社会貢献的な事業であるが、この意図を理解し参画する企業が17社増加し33社になった。こうした地域の企業の意識改革が進むと、雇用に困らない飯田・下伊那の企業群の形成につながると考えられる。

## ※自己評価【A】

## 【理由】

- ・想定を上回る協力企業と、高校生の参加を得ることができた。
- ・高校のキャリア教育支援という新たな取組を実施することができた。

## 今後の取り組み

- ①各企業の取組が相乗的に活発化することを図り、情報交換等を通じて企業内メンターが互いに高めあう機会をこれまで以上に設定する。
- ②令和元年度に実施した松川高校のキャリア教育支援は、高校生の職業観の形成に大きく貢献し、地元企業との関係づくりを行うきっかけを生み出すことができた。この取組の他校への拡大を図る。
- ③エス・バードの活用や、企業間のコラボレーションにより、高校生が参加しやすい場所でテーマ設定型事業を実施し、高校生の参加を促す。
- ④高校生の多様なニーズに応えるため、新規協力企業の増加を目指す。